

## 令和3年度（2021年度）北海道教育研究所連盟冬季所員研修会

### 開会・オリエンテーション

#### 研修会のねらい

教育研究所・センター所員等の、学習評価及びICT活用に関する理解を深め、今後の各教育研究所・センターの研修講座等の企画・運営に役立てる。

1

### ○ 研修会の流れ 15:00～16:20

- 1 説明・協議 15:00～15:15  
「妥当性・信頼性のある学習評価の在り方と負担軽減の方策」
- 2 説明・協議 15:15～16:00  
「情報モラル教育の現状と指導の在り方」
- 3 情報提供・質疑 16:00～16:20  
「1人1台端末及びクラウドサービスの活用事例」

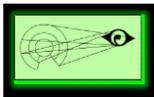
2

# 令和3年度（2021年度）冬季所員研修会

## 【説明・協議】 妥当性・信頼性のある学習評価の在り方と 負担軽減の方策

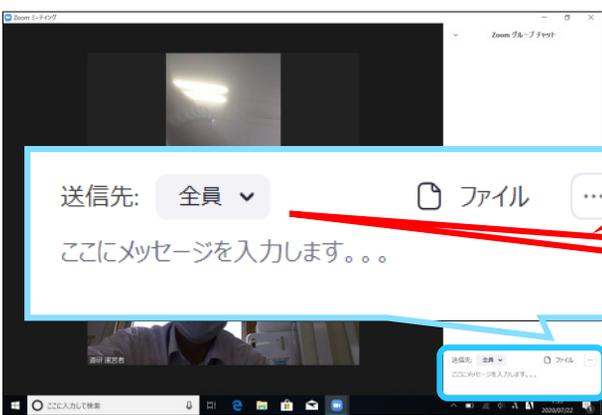
### ねらい

妥当性・信頼性を確保しつつ評価の負担を軽減する方策について理解を深め、所員等の研修講座における企画力や助言力の向上に資する。



北海道教育研究所連盟事務局

**質問・感想**があればチャットに御入力ください。



①「チャット」をクリック

②入力バーにメッセージを打ち込む。

③送信先は「全員」に。

※回答できるものについては、コマの最後に回答します。

## 7月30日（金）夏季所員研修会アンケートより

「自分で気付き発見していく授業」「学習を調整することの重要性」が分かった。



評価方針を共有するために、ルーブリックの作成は役立つ。

確かな評価基準をもつことの重要性は分かるが、「効率」という視点も大切にしたい。

5

## 「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」

指導に生かす評価「・」 ※「・」は代表的な機会

日々の授業の中で児童生徒の学習状況を適宜把握して指導の改善に生かす

記録に残す評価「○」

児童生徒全員について記録をとり、総括の資料とするために蓄積する  
(総括的評価は、あくまでも記録に残す評価「○」をもとに判断する)

毎時間児童生徒全員について記録をとり、総括の資料とするために蓄積することは現実的ではないことから、児童生徒全員の学習状況を記録に残す場面を精選し、かつ適切に評価するための評価の計画が一層重要

国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 小学校算数科」16、51頁 6

ペーパーテスト等のみにとらわれず、一人一人の学びに着目して評価をすることは、**教師の負担**が増えることのように感じられるかもしれません。（中略）その際、助けとなるのは、**教師の協働と共有**です。（中略）**学校全体や他校との連携**の中で、**計画や評価ツールの作成を分担**するなど、これまで以上に協働と共有を進めれば、教師一人当たりの量的・時間的・精神的な負担の軽減につながります。風通しのよい評価体制を教師間で作っていくことで、**評価方法の工夫改善と働き方改革**にもつながります。

## 道研連「指導案バンク」

### 〔掲載内容〕

① 学びに向かう力の育成に向けた指導計画



作成



② 研究会等の実践



収集

指導案バンク  
(道研連HP)

ダウンロード



共同研究推進委員が作成した、学びに向かう力の育成に向けた指導計画を全道で共有

各研究所・センターの過去及びこれから発行する紀要等に載っている指導案のデータを、指導案バンクに載せ、全道で好事例を共有

## 学びに向かう力の育成を目指した指導計画（R2作成分）

	教科	学年	単元名（題材名）	キーワード
1	国語	小1	「スイミー」（C読むこと）	毎時間の振り返りによる「主体的に学習に取り組む態度」の評価
2	国語	小3	「鳥になったきょうりゅうの話」（C読むこと）	「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」の明確化
3	国語	小4	「ごんぎつね」（C読むこと）	グループ活動を通して多様な考え方への気づきを促す活動
4	国語	小5	「提案文を書こう」（B書くこと）	「書くこと」における構成メモを活用した指導
5	国語	中2	説得力のある提案をする（B書くこと）	話すこと・聞くことにおける振り返りを促す指導
6	算数	小3	表と棒グラフ	単元の見通しをもたせ、主体的に学習に向かう態度を育む単元構成の工夫
7	算数	小4	がい数	全国学力・学習状況調査を活用した指導と評価
8	生活	小2	まちが大すき たんけんたい	思考ツールを活用した連続ドラマ型の授業
9	音楽	中1	歌曲のよさを味わおう	歌詞から楽曲の特質や雰囲気を感受した鑑賞の指導と評価
10	体育	小5 小6	マット運動	人とのかかわりを通して、主体的に学習に取り組む態度を育てる指導の工夫
11	その他	小4	「プログラムランド」でプログラミングに挑戦しよう	プログラミング教育におけるプログラミング的思考力や主体性を高める指導

9

## 作成した指導計画から評価の在り方を学ぶ

配付資料 参照

国語科 小学校第1学年

単元名：「楽しかったことをかこう」（B 書くこと）

作成者：留萌管内教育研究所 中村 泰広 研究員

※令和3年度作成 未定稿

10

## 負担軽減のポイント例

- ① 「子どもに何を身に付けさせたいか」を焦点化して計画する（評価規準を精選する）。
- ② 低学年は、分かりやすい言葉で（めあてとして）伝える。
- ③ 「記録に残す評価」を精選する。
- ④ 作成したルーブリックを共有する。
- ⑤ 評価の事例を読み、評価方法を学ぶ。

11

### 【参考】「主体的に学習に取り組む態度の評価」の考え方 例①

表 第3観点，評価の求め方（小・中学校）

「知識・技能」：知、「思考・判断・表現」：思、「主体的に学習に取り組む態度」：主

知思	小 学 校				中 学 校			
	主の 基本	評定の 基本	明白な根拠がある		主の 基本	評定の 基本	明白な根拠がある	
			主の 変更	評定の 変更			主の 変更	評定の 変更
A A	A	3	B		A	5	B	4
A B / B A	B	2	A	3	A	4	B	3
B B	B	2	A		B	3	A	
B C / C B	B	2	C	1	B	2	C	1
C C	C	1	B		C	1	B	
A C	B	2			B	3		

鈴木秀幸「『主体的に学習に取り組む態度』の評価—他の二観点と連動させる—」『指導と評価』2021年11月号38-40頁 | 2

## 【参考】「主体的に学習に取り組む態度の評定」の考え方 例①

### 明白な根拠がある場合

もともとこの観点を信頼性、妥当性をもって評価するのは難しいので、**誰が見ても一段下げる（上げる）べきと考える（明白な根拠がある）場合に限定すべき**である

↓ 一段下げるケース（粘り強く学習に取り組むことに反する）

- 授業が始まってすぐに、授業とは別のこと（別の科目の学習など）をやりはじめてしまうようなことが頻繁にある
- 宿題を出したのに、ほとんどやってこない 等

↓ 一段上げるケース

- 「わからない場면을改善するための方法を考えることができる段階」と判断できる ※メタ認知能力
- （A基準の）多くの**キーワード**に該当する場合 ※粘り強さ

鈴木秀幸 「『主体的に学習に取り組む態度』の評定—他の二観点と連動させる—」 『指導と評価』2021年11月号38-40頁 13

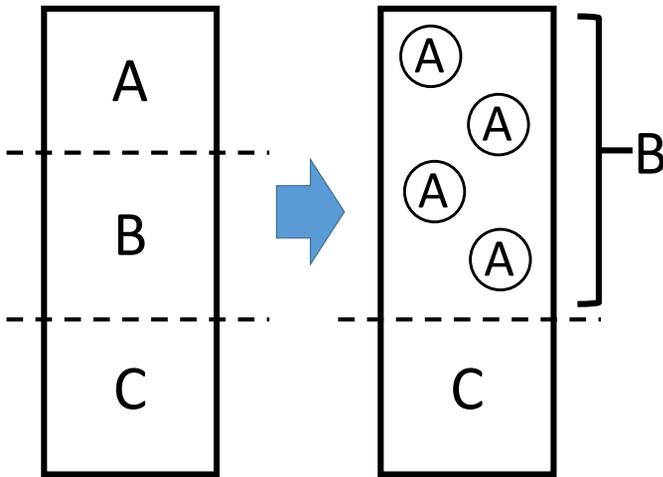
## 【参考】「主体的に学習に取り組む態度の評定」の考え方 例①

### A基準のキーワード（一部抜粋）

教科	キーワード
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経験や興味と関連付けようとしている。</li> <li>● 友達のよさを自分の発表に生かそうとしている。</li> <li>● 共通点や違いを意識しようとしている。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 身の回りの事象と比較しようとしている。</li> <li>● さらなる疑問や感想をもとうとしている。</li> <li>● 経験に関連付けて振り返ろうとしている。</li> <li>● 社会の一員としての在り方を具体的に考えようとしている。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常の事象から見出して～している。</li> <li>● 数学的事象のよさに気付いて～している。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生態系の維持に積極的に関わろうとしている。</li> <li>● 視点をもって取り組もうとしている。</li> <li>● 見通しをもって～している。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目標をもって試行錯誤しようとしている。</li> </ul>

鈴木秀幸 「『主体的に学習に取り組む態度』の評定—他の二観点と連動させる—」 『指導と評価』2021年11月号38-40頁 14

【参考】「主体的に学習に取り組む態度の評定」の考え方 例②



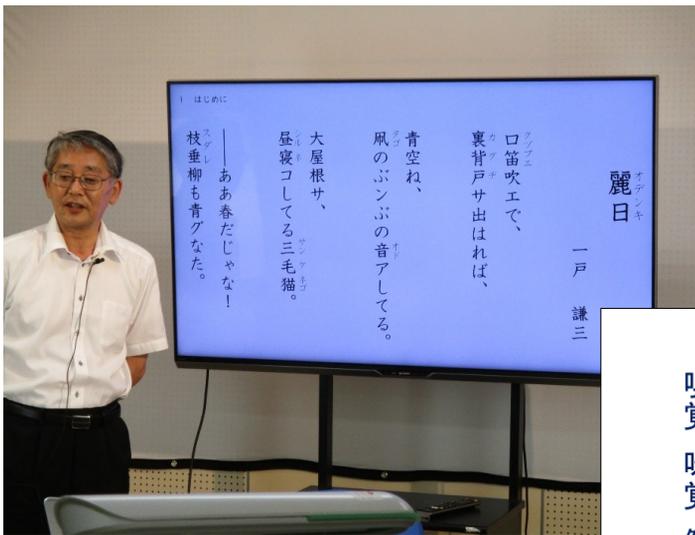
3層に分けて捉えるのではなく、Bの中にさまざまなAがあると捉える。

Aと判断するポイントの例

- ・速やかさ
- ・丁寧さ
- ・集団への寄与
- ・興味の広がり
- ・応用・活用の意識など

富山哲也「特集 新しい学習評価」『中学校 国語教育相談室No.93』6-7頁

授業観（評価観）の転換



子どもが**見通し**をもち、**学習を調整**できる授業

教師が**その場で評価**し  
子どもも**評価**する授業

- 私の大発見  
一つの文字・言葉から  
大きな世界が広がる
- 発見する世界は三つの「カン」
- 時間
  - 空間
  - 五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）